

要 旨

試験委託者 環境省

表 題 ジフェニルエーテルの藻類 (*Pseudokirchneriella subcapitata*) に対する生長阻害試験

試験番号 No. 2004-生65

試験法ガイドライン

本試験は、厚生労働省医薬食品局長、経済産業省製造産業局長、環境省総合環境政策局長連名通知「新規化学物質等に係る試験の方法について」（薬食発第 1121002 号、平成15・11・13 製局第 2 号、環保企発第 031121002 号、平成 15 年 11 月 21 日）に準拠して実施した。

- 1) 被験物質 : ジフェニルエーテル
- 2) 暴露方式 : 止水式、振盪培養 (100rpm)
- 3) 供試生物 : *Pseudokirchneriella subcapitata* (ATCC 22662)
- 4) 暴露期間 : 72時間
- 5) 試験濃度(設定値) : 対照区, 0.25, 0.33, 0.44, 0.58, 0.78 mg/L
公比 ; 1.3
- 6) 試験溶液量 : 100 mL (OECD 培地) / 容器
- 7) 連数 : 3 容器 / 試験濃度区、6 容器 / 対照区
- 8) 初期細胞濃度 : 0.5×10^4 cells/mL
- 9) 試験温度 : 23 ± 2 °C
- 10) 照明 : 60 ~ 120 $\mu\text{E}/\text{m}^2/\text{s}$ (フラスコ液面付近) で連続照明
- 11) pH : 試験溶液の pH 調整は行わない
- 12) 分析法 : HPLC 法

結 果

1) 試験溶液中の被験物質濃度

暴露終了時の被験物質濃度は暴露開始時に比較して 50 %程度の低下が認められたが、藻体もしくはプラスチック容器への吸着と考えられたことから、暴露開始時の測定値を用いて、各影響濃度(50 % 生長阻害濃度、最大無影響濃度)を算出した。

2) 生長速度の比較による阻害濃度

50 %生長阻害濃度 $E_1C_{50}(0-72)$: 0.580 mg/L (95%信頼限界 : 0.556 ~ 0.608 mg/L), Logit
最大無影響濃度 NOEC (Rate 0-72) : 0.32 mg/L

3) 生長曲線下面積の比較による阻害濃度

50 %生長阻害濃度 $E_0C_{50}(0-72)$: 0.405 mg/L (95%信頼限界 : 0.392 ~ 0.417 mg/L), Logit
最大無影響濃度 NOEC (Area 0-72) : 0.25 mg/L